

# 多摩川

日本共産党狛江市議会議員  
鈴木えつおの市議会報告



発行：日本共産党狛江市議団 2011年5月  
第84号 鈴木えつお議員の活動を紹介します。



土のう袋を積み出発（28日、市役所）

狛江市では、市民の皆さんから寄せられた紙おむつ、ウェットシート、消毒液、生理用品、使い捨てカイロなどの救援物資を都へ搬送したほか、4月21日に市職員が宮城県石巻市へ届けました。

またその際に浸水家屋の廃棄物処理する「土のう袋」が欲しいとの要請を受け、都

市長会に話をし狛江市も含む21市から4万2150袋、都町村会からも4600袋が提供され、計4万6750袋を4月28日に市職員が石巻市へ届けました。また南三陸町や大槌町でも市職員が支援活動を行いました。義援金の合計額は4月27日現在、1465万円余となっています。

## 日本共産党6人全員当選

### 安心安全、特養ホーム・保育園増設



開票日の翌日、狛江駅前選挙結果の報告と公約実現への決意を語る日本共産党の6人。左から田辺良彦、鈴木えつお、岡村しん、宮坂良子、西村あつ子、田中とも子の各氏（4月25日、狛江駅北口）

みなさんと力をあわせて

## 公約実現にがんばります



鈴木えつお

4月24日に投開票された狛江市議選で、

私、鈴木えつおは前回票（1433票）を上回る1599票を得て当選を果たすことができました。そして日本共産党6人も全員当選を果たすことができました。いま、ほっとするとともに、得票の重みをかみしめながら活動しなければと、決意を新たにしているところです。

今回の市議選は22の定数に26人が立候補、一票を争う大激戦となりました。

その中で、私をはじめ、日本共産党の6候補は、東日本大地震で被災した方々への支援をすすめる、原発依存から自

然エネルギー中心に切り替えることや、学校や保育園など公共施設の耐震改修や高齢者や障がい者の避難への支援体制の整備など安心安全の狛江のまちづくり、また市民の切実な要望である特養ホームの増設や保育園の待機児ゼロめざし認可保育所を建設することなどの公約を訴えて回りました。

そしてこれらを実現するためにも、市民本位の矢野市政をささえる日本共産党6名全員を市議会へと訴えました。

この訴えには「夫は寝たきりの状態です。特養ホームはぜひお願いします」「原発はもうこりこりです。原発の下請け労働者の実態も告発してほしい」「矢野市政を支えて頑張ってください」など共感

## 日本共産党に寄せられた東日本大震災の救援募金5億円余

### 81の被災自治体に3億4千万円届ける

党狛江市委員会に70万円余

日本共産党が全分として岩手、宮城、福島、茨城、栃木の3県と40市31町7村の計81の被災自治体に18日現在、5億円届けられました。

党国会議員や地方法議員らが、自治体の首長らを訪ね、被災地の要望を聞き、復旧とともに救援・復興について話し合っています。

このうち3億4千万円が、第1次で届けています。

**日本共産党の救援募金受付**  
【郵便振替口座】  
00170-7-98422  
【口座名義】日本共産党中央委員会  
\*通信欄に地震救援募金と明記のこと。  
私、鈴木えつおも受付けています。

「これらからもよろしくお願います」「6人全員はすぐいですがね」「防災行政無線が聞こえないので対策を取ってほしい」「住宅の耐震改修助成を充実させてほしい」「市の窓口の案内や説明をわかりやすくしてほしい」など激励や要望が寄せられています。

私は、早速、防災行政無線など災害時の情報伝達の改善充実など、市に申し入れを行いました。

鈴木えつおのなんでも相談

【連絡先】

自宅 3488・8839  
議会控室 3430・1177  
携帯090・7280・7861



# 南部地域の交通利便改善と 水道道路の安全対策を

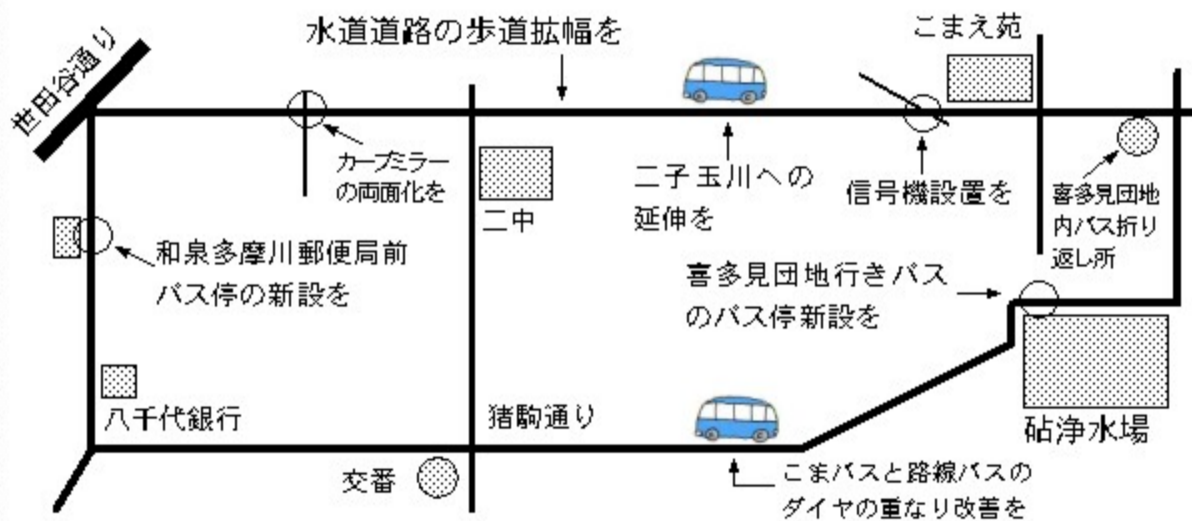


鈴木えつお

3月議会の一般質問を紹介します



第六小学校



## 適切な支援でどの子も必ず伸びる 六小にも特別支援学級を

私、鈴木えつおは、3月議会で発達障がいなど特別な支援が必要な子どもたちへの教育の充実を求めました。教育部長は、六小など特別支援学級のない学校に専門の教師を派

遣する都の特別支援教室事業に「積極的に参加していく」と答えました。来年度から3か年、モデル事業が実施されます。私は質問にあたり、特別支援学級のない五小、六小を訪ね、校長先生のお話を伺いました。保護者からは、子どもを見る目が必要。適切な支援を受けるのが3年遅れると、子どもたちや保護者にかかわるカウンセリ

ング的の力が要。専門的知識のある先生がそばにいて、子どもを支援や教員の指導力アップに役立っています」と話されました。

私、鈴木えつおは3月議会で、日本共産党市議団が行った市政アポイントに寄せられた要望をもとに質問しました。そして、①水道道路のバスの二子玉川への延伸、当面の対策として二子玉川から東名高速下まで来ているバスの喜多見団地内バス折り返し所までの延伸、②喜多見団地行きバスについて、和泉多摩川郵便局前へのバス停新設と砧浄水場付近へのバス停新設、③こまバスと喜多見団地行きバスのダイヤが重なっているのをその改善、④事故が多発している水道道路の安全対策のための歩道の拡幅、都市計画道路としての整備促進、⑤み

ずは幼稚園とこまえ苑の間の交差点への信号機設置、消防団第三分団横のカーブミラーの両面化など求めました。これに対し建設環境部長は、①水道道路のバスの二子玉川への延伸については、「バスの会社の意向を確認する」、②和泉多摩川郵便局前等へのバス停の新設については、「バス会社と調整をしていく」、③こまバスと喜多見団地行きバスのダイヤの重なりについては、「今後ダイヤ改正が必要になった際など、バス会社と調整をしていく」、④水道道路の歩道の拡幅については、「この道路は都の整備方針の中で優先整備路線となっており、ひきつづき整備をお願いしていく」、⑤みずは幼稚園とこまえ苑の間の交差点への信号機設置については、「都北多摩南部建設事務所に要望していく」、消防団第三分団横のカーブミラーの両面化については、「道路反射鏡の設置基準に基づき検討していく」と答えました。

ひきつづき、南部地域の交通利便の改善と水道道路など交通安全対策の促進を求めます。

また、④水道道路の歩道の拡幅については、「この道路は都の整備方針の中で優先整備路線となっており、ひきつづき整備をお願いしていく」、

意見交換を行う」と答えました。

### 低所得者への 市民税等の減免拡充を

私、鈴木えつおは、3月議会で、会社の倒産などで収入が減り生活が困難している方々には、生活に必要な最小限の家賃があっても市民税を減免すべきと求めました。市民生活部長は「減免基準の運用等について検討する」と答えました。また国保税の減免制度と国保医療費の窓口負担の減免制度を広く市民に周知すべきとの質問に、福祉保健部長は「減免制度の仕組みや手続き方法も含めて広報やホームページ、窓口のバ

おトイレマップ完成

散歩のときなどトイレが利用できるお店や公共施設のマップが完成しました。市役所や公共施設においてあります。

### なんでもお気軽にご相談ください

日本共産党市議会議員  
鈴木えつお

自宅 3488-8839  
事務所 5497-2435  
市議会控室 3430-1177

駒井町 3-18-5  
猪方 3-37-5

〔連絡先〕